

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 東京発ショートフィルムの祭典 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2017 今年も開催決定！

**EXILE HIRO×別所哲也のコラボプロジェクト「シネマファイターズ」もプレミア上映
 第1弾作品は山田孝之、石井杏奈 出演『パラレルワールド』（河瀬直美監督）！
 楽曲は三代目 J Soul Brothers「Unfair World」**

ショートショート実行委員会、及びショートショート アジア実行委員会は、米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭である、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）を6月1日（木）から6月25日（日）まで開催します。今年で19回目となる本映画祭には、今年も140を超える国と地域から9,000本を超えるショートフィルムが集まりました。上映作品数はその中から選りすぐりの約250作品を予定しております。

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2017 概要】

- 映画祭代表：別所 哲也
- フェスティバルアンバサダー：LiLiCoさん
- 開催期間：6月1日（木）～6月25日（日）
- 上映会場：東京5会場、横浜1会場 計6会場予定

※開催期間は各会場によって異なります。また、変更になる場合もございます。

＜東京＞表参道ヒルズ スペース オー、ラフォーレミュージアム原宿、
 アンダース 東京 Andaz Studio、iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ、
 恵比寿act*quare

＜横浜＞プリリア ショートショート シアター

- 料金：無料上映 事前予約はPeatixにて、当日券あり

※予約開始は4月下旬を想定。一部、有料イベントあり。

- オフィシャルサイト：<http://www.shortshorts.org/>

- 主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会

【本映画祭の見どころ】

EXILE HIROプロデュースのEXILE TRIBE×SSFF & ASIAコラボ企画 『CINEMA FIGHTERS』より、6作品が本映画祭でプレミア上映

ショートフィルムの総合ブランド「ShortShorts」と、21世紀の日本のエンターテインメントシーンを牽引するアーティスト集団「EXILE TRIBE」が所属するLDH JAPANがタグを組み、数々のメジャーアーティストの作詞を手がける小竹正人氏の世界観を具現化する音楽と映像の新しいプロジェクトです。映画祭でのプレミア上映に向け、全6作品のショートフィルムの製作を進めています。

CINEMA FIGHTERS特設サイト (<http://shortshorts.org/2016/cinemafighters/>)

第1弾作品は河瀬直美 監督、 山田孝之、石井杏奈 出演の『パラレルワールド』 三代目 J Soul Brothersの楽曲「Unfair World」の世界観を映像化！

『パラレルワールド』

監督：河瀬直美 楽曲：三代目 J Soul Brothers「Unfair World」

キャスト：山田孝之、石井杏奈

15年ぶりに母校の天体観測室を訪れた徹。当時のまま、時が止まったかのような部屋で一冊のノートを見つける。「見ていてくれてありがとう」それは想いを寄せていたダンス部の真矢からのメッセージだった。伝えることのできなかつた想いが行き場もなく、徹の目から涙が溢れ15年前と今が交錯しはじめる。もしもあの刻を動かせるなら…



＜映画祭メインビジュアル＞
 cinematic! cinemaTEC!

CINEMA FIGHTERS
 EXILE TRIBE × SHORTSHORTS



(C) LDH pictuers

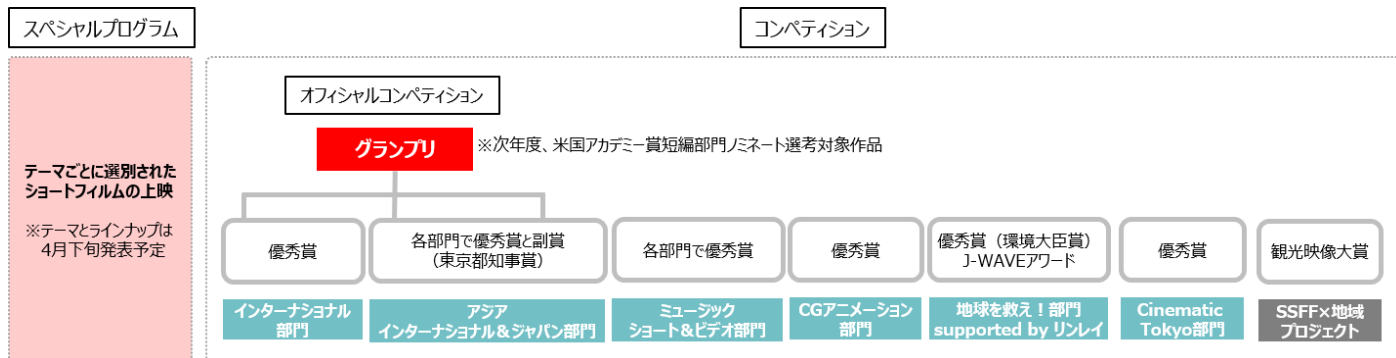
※本リリースの記載内容は変更になる場合もございます。
 本作品の上映日時・事前予約は、追ってご案内いたします。

【上映プログラムの構成】

SSFF & ASIAでお楽しみいただける上映プログラムは、国別や世の中の関心テーマごとに分けられた『スペシャルプログラム』と、部門ごとに優秀賞が決定される『コンペティション』の、大きく2つに分かれております。

また、「コンペティション」のなかでも、インターナショナル部門、ジャパン部門、アジアインターナショナル部門の3部門を指して「オフィシャルコンペティション」とし、3部門の優秀賞からグランプリが決定します。選ばれたグランプリ作品は、次年度の米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象となります。

2016年のグランプリ作品『合唱』は、第89回米国アカデミー賞短編実写部門でオスカーを受賞しました。SSFF & ASIAのグランプリ作品がアカデミー賞の短編部門でオスカーを受賞するのは初となります。



■『スペシャルプログラム』 ■『コンペティション』 それぞれの出品作品を、会期中各会場にて、100分間ずつの時間枠で無料上映いたします。

一部を除く、各部門の優秀賞・グランプリ作品は6月11日（日）に行われるアワードセレモニーで発表となります。

また本映画祭の開催に先駆けて、6月1日（木）には、オープニングセレモニー（いずれも招待制イベント）を開催予定です。セレモニーの概要につきましては別途、ご取材案内状をお送りさせていただきます。

【本映画祭の歩み】

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム（1分から25分程度の短編映画）」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの想いから1999年に創立。2001年には名称を「ショートショート フィルム フェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から、同年に「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、“SSFF & ASIA”として2つの映画祭が同時に行われています。

2016年度の来場者数は、20,031人。毎年多くのお客様に、ショートフィルムをお楽しみいただいております。



LiLiCo
(フェスティバルアンバサダー)



別所 哲也
(SSFF & ASIA代表)

【SSFF&ASIA2017 メインテーマ】 cinemaTIC! cinemaTEC!

20世紀に花開いた映画文化。銀幕の向こうに広がるシネマの世界が人々を魅了してきました。21世紀を迎え、デジタル化を筆頭に数多の最先端技術が次々に興隆。撮影や制作現場に革新をもたらすテクノロジーとテクニック—シネマテックが花開き、エンターテインメントは垣根を越え、新時代を切り開き、進化し続けています。その一方で、映画が紡ぎ出すシネマチックな体験は、昔も今も変わりません。

来年に控える映画祭20周年を前に、今年は『cinemaTIC! cinemaTEC!』をテーマに、シネマの普遍性と進化の先にある映画・映像の未来に光をあてます。

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア広報事務局（株式会社オズマピーアール内） 担当：山本、岩見
TEL：03-4531-0212 / FAX：03-3265-5267 / E-mail：ssffasia2017@ozma.co.jp

ショートショート実行委員会 担当：高橋
TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail：press@shortshorts.org